

【 対 面 】

2. データサイエンス最前線！データに基づく意思決定のしくみ



開 講 日 程	対 面	6月20日(土) から 7月11日(土) まで 毎週土曜日 全4回	
	時 間	9:30 ~ 11:00	
	対面会場	新潟大学駅南キャンパス ときめいと 講義室 A	新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラールカ1 2階
YouTube 配信	—		
受 講 料	4,400円 学生(大学生以下)は無料です		
募集人数	30人 先着順	申込締切 6月17日(水)	





機械学習・AI 技術の発達により、定量データの分析は比較的容易になりました。一方で、人の判断や感覚、価値観といった主観的・感覚的な定性データを、どのように数理の中に埋め込むのかは、理論および倫理面で大きな課題となっています。

数理的に正しく計算されていても、 x, y, z といった数値をそのまま使ったのでは、なぜその結果になるのかが理解しづらく、現実の課題にどう生かすのかが見えにくくなります。その結果、実社会での実装に向けた意思決定や合意形成が滞ってしまうこともあります。かといって、人為的な手法に偏れば、判断の根拠が弱まり、ともすると捏造や改ざんと受け取られかねません。

データサイエンスは「人に伝わり、納得される」ことが重要です。

本講座では、こうした数理と人間の判断の関わりについて、対面ならではの説明と具体例を通して、次の3つの内容を軸に分かりやすく解説します。

- ・課題設定とデータ分析を結びつける数理的意思決定手法(オペレーションズ・リサーチ)
- ・AI 技術を構成する人間の価値判断(機械学習モデル、アノテーション、RLHF)
- ・データサイエンスの成果物の説明可能性(潜在意味空間、可視化)

	日 程	講義題目	講義内容	講 師
第1回	 対面 6月20日(土)	オペレーションズ・リサーチの概要	オペレーションズ・リサーチ(数理最適化、OR)の歴史と実社会における必要性について、できる限り数学を使わずに解説します。	自然科学系(理学部) 教授 山田 修司
第2回	 対面 6月27日(土)	様々な意思決定手法	物流や商品の生産など具体的な事例を考え、事例ごとの意思決定手法について、できる限り数学を使わずに解説します。	自然科学系(理学部) 教授 山田 修司
第3回	 対面 7月4日(土)	AI の学習プロセスと人間によるフィードバック	人間の直感や経験が数理モデル・AI の学習プロセスにどのように影響を与えるかを考察します。	自然科学系(工学部) 特任准教授 齋藤 裕
第4回	 対面 7月11日(土)	データサイエンスにおける「説明可能性」	データサイエンスによる成果物(課題解決提案等)をどのように解釈し他者へ説明すべきかについて検討します。	自然科学系(工学部) 特任准教授 齋藤 裕

講師の所属および職名は令和8年4月1日現在のものです

禁止事項について

- ・講義内容の録音・録画、および資料の SNS 等への転載は、固くお断りいたします。

撮影に関するご協力とお願い

- ・広報(公開講座の案内、HP 掲載等)および記録のため、会場内の様子を写真撮影します。
写真は個人が特定されない範囲(後姿や遠景など)に限定して使用いたします。
撮影・使用に同意いただけない場合は、事前にお問い合わせ先までご連絡ください。

対面での出席について

- ・発熱・倦怠感・咳などの症状がある場合は、対面での出席をご遠慮ください。欠席連絡は不要です。

◎ お申し込みについて

- ・WEB 申込後、「受講申込受付メール」(自動送信)が届きます。
メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダ等をご確認のうえ、お問い合わせ先までご連絡ください。
- ・ご提供いただいた個人情報は、公開講座の運営目的にのみ使用いたします。

※ 本講座は、令和7年度の「データサイエンス最前線！データに基づく意思決定のしくみ」の内容を基に、最新の動向や事例を交えて解説します。

【お問い合わせ】

新潟大学 研究企画推進部 社会連携課 〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
 〆 koukai@adm.niigata-u.ac.jp ☎025-262-7633(平日9:00-17:00) FAX 025-262-7513
 新潟大学公開講座ホームページ <https://www.niigata-u.ac.jp/contribution/learning/open-learning/>



WEBから
お申し込み
できます